

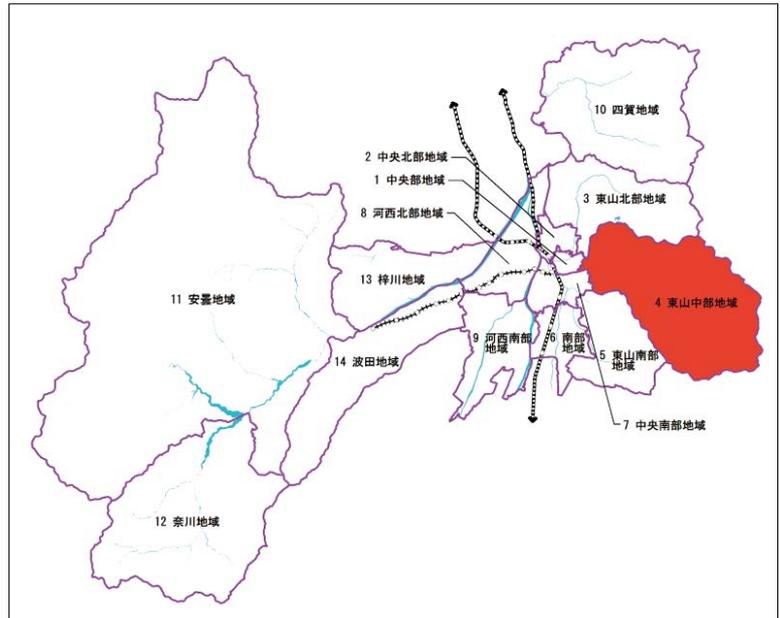
4 東山中部地域（里山辺地区・入山辺地区）

（1）地域の概況

東山中部地域は東山山系と薄川沿いの農地及び住宅地によって構成されています。東山山系の一部は八ヶ岳中信高原国定公園に指定されており、これらの山並みが形成する稜線は市街地からの重要な景観要素となっています。

長野県ぶどう発祥の地としても知られ、地域の特産品である山辺ぶどうを中心とした果樹栽培が行われています。

山間地では人口減少と高齢化が顕著に進み、生活利便性やコミュニティの維持が課題となっています。また、遊休荒廃農地が見られ、地域の活性化や農地の保全などが課題となっています。山間部では土砂災害が想定されている区域があり、安全な避難を可能とするための対策が必要となっています。



（2）地域別構想

① 将来像

「湯けむり・ぶどう・歴史を活かした山ふところの里」

- 歴史ある都市近郊型の温泉観光地
- ぶどう・遺跡を活かした個性豊かな山ふところの里(ぶどうの里づくり)
- 美ヶ原高原と三城一帯周辺の良好な自然環境とふれあえるまち

② まちづくりの方針

美ヶ原温泉街を歴史・文化・観光拠点として位置付け、浅間温泉及び周辺のスポーツ施設と連携しながら、温泉街としての魅力づくりに加え、良好な水と緑の環境をもつ美ヶ原高原、三城一帯を自然交流拠点として整備します。また、山辺ぶどうなどの地域特有の資源や古墳、古寺、古城などの歴史資源を活かした地域産業づくりをすすめ、里山景観と調和した山ふところの里として整備します。

③ 拠点形成と土地利用

本地域の拠点及び土地利用区分を次のように定めます。

拠点形成	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ拠点（里山辺地区、入山辺地区の地域づくりセンター周辺） ● 歴史・文化・観光拠点（美ヶ原温泉） ● 自然交流拠点（美ヶ原高原、三城一帯） 		
土地利用	都市的開発整備ゾーン	商業業務系	健康・スポーツ地区（美ヶ原温泉地区）
		産業系	—
		住宅系	低層住宅地区（地域西部の住宅地）
	農業環境保全ゾーン		田園集落地区（薄川沿いに広がる農地）
	自然環境保全ゾーン		公園緑地（八ヶ岳中信高原国定公園）、森林・丘陵緑地（八ヶ岳中信高原国定公園以外の丘陵地）

④ 整備方針

【施設整備】

○幹線道路網の形成

- 都市計画道路出川浅間線の整備を進めます。

○交通の安全性の向上

- 自動車・歩行者・自転車交通の安全性の向上に向けた道路の拡幅、安全対策等を推進します。

○自然交流拠点と周辺のレクリエーション施設等の一体的活用

- 美ヶ原高原、三城一帯とその周辺のレクリエーション施設等を一体的に活用し、自然と親しみ、ふれあえる空間形成を進めます。

○ぶどう園や遺跡を巡る回遊型散策路の設定と整備

- 山辺ぶどう園や、山辺ワイナリー、針塚古墳、林城趾、中入城跡（山家城跡）、桐原城跡等、美しい景観を楽しみながら巡る回遊型の散策路整備を進めます。

○市街地における防災・避難空間の充実等

- 災害発生時の市街地における防災・避難空間の充実等に向けて、都市計画道路の整備、狭あい道路の拡幅を推進します。

○土砂災害の防止・被害の低減

- 土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の危険周知、避難体制整備等の対策を推進します。

○公共施設や公民館、空き地等の利活用

- 地域と行政が連携し、生活の快適性や利便性の維持・向上、コミュニティの醸成等の観点から、公共施設や公民館、空き地等の利活用を検討します。

【公共交通】

○幹線バス路線の利便性の維持、充実

- 生活拠点と中心市街地間の移動を支えるバス路線の利便性を維持、充実に向けた、路線・本数・時間の見直しを図ります。

○地域の暮らしを支えるバス路線の利便性の維持、充実

- 地域と生活拠点間の移動を支えるバス路線について、利用状況等を考慮して利便性の向上を検討します。
- 地域内移動について、地域の実態や需要に応じた最適な交通サービスの構築を検討します。

【環境保全形成】

○情緒や魅力ある温泉街の形成

- 温泉街とスポーツ施設との連携による魅力づくりを進めるとともに、看板や表示板の周辺の街並みとの調和や、歩行空間の充実と緑化により、温泉街の景観形成を図ります。
- 温泉街外周部と周辺の丘陵地及び低層住宅地などとの景観的な調和を図ります。

○山並みと調和のとれた住宅地景観の形成

- 周辺の山並みと調和のとれた低層住宅地の景観形成を図ります。

○入山辺のぶどう園などの地域資源を活かした里山景観の形成

- 入山辺のぶどう園などと周辺の集落地が一体となった特色ある里山景観の保全・形成を図ります。

○薄川での水辺環境と親水空間の形成

- 河川敷等の自然環境の保全を図るとともに、親水機能を備えた身近な水辺空間づくりを促進します。
- 快適な歩行者空間の形成、植栽による良好な景観形成などに配慮し、市民の安らぎの場となる河川緑地の整備を促進します。

○美ヶ原高原の自然の再生・保護・利用

- 美ヶ原高原の自然資本を最大限活用し、植生回復や景観保全に取り組みながら、高原観光地としての魅力創出を図ります。

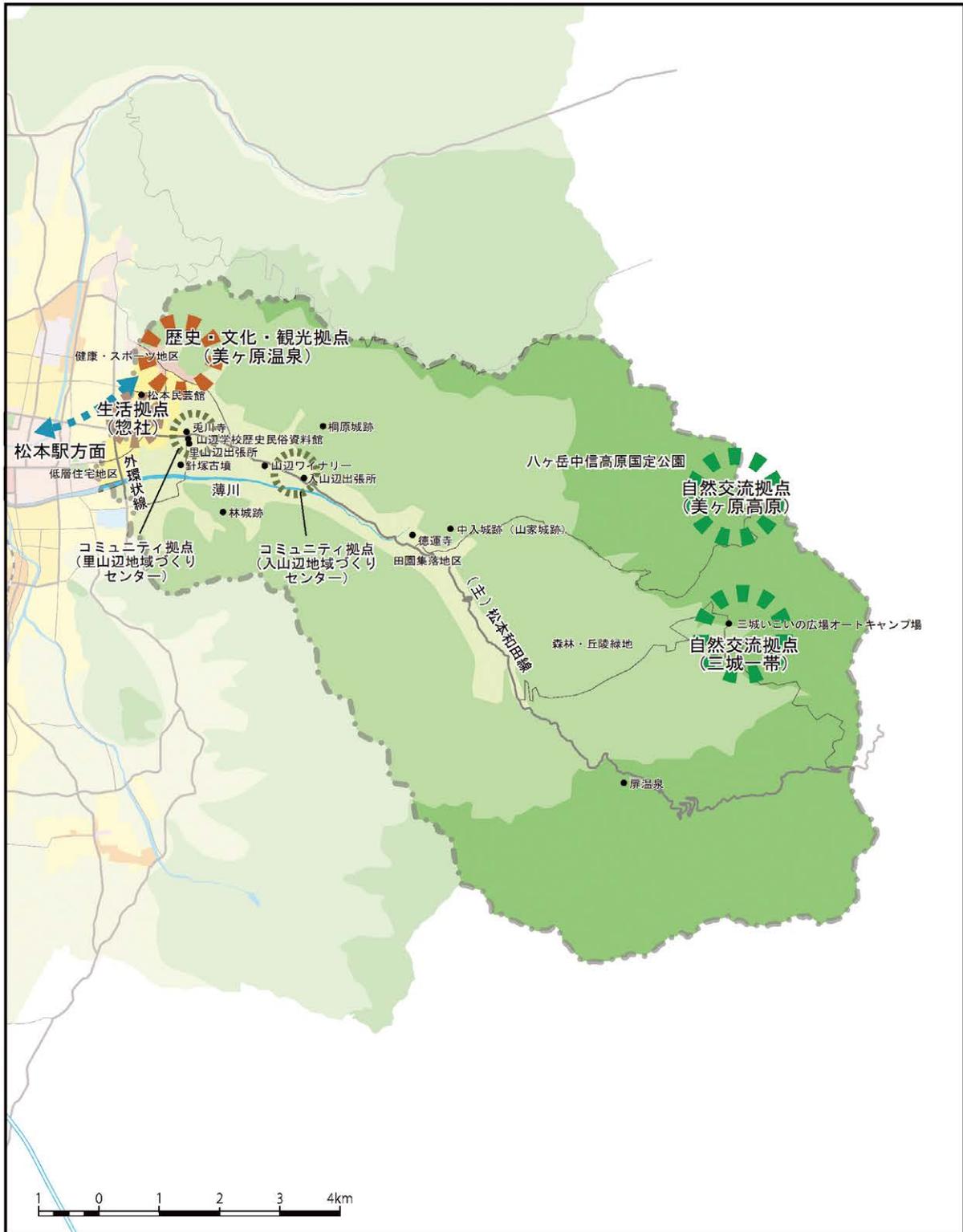


美ヶ原高原



美ヶ原温泉

● 東山中部地域 整備方針図



凡 例

土地利用区分

- | | |
|-------------|-----------|
| ● 中心商業業務地区 | ● 都市型住宅地区 |
| ● 都市型複合業務地区 | ● 低層住宅地区 |
| ● 複合業務地区 | ● 田園集落地区 |
| ● 地域商業地区 | ● 山間集落地区 |
| ● 学術・医療地区 | ● 森林・丘陵緑地 |
| ● 健康・スポーツ地区 | ● 公園緑地 |
| ● 工業地区 | ● 河川 |
| ● 流通業務地区 | ● 交通施設用地 |
| ● 複合産業地区 | |

道路種別

- 高速道路
- 高規格道路
- 主要幹線道路
- 幹線道路

公共交通

- 鉄道 (JR)
- 鉄道 (その他)
- バス (主要幹線、幹線)